

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2007.11.20
【第11号】



これはHTML形式
のMAILです。
オンラインで無い場合
は画像が表示され
ない可能性があります。

HOME PAGE

SCHEDULE

EVENTs

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

- ① みんなのひろば祭り参加報告
- ② 事業所探訪 その14 東京JOBステーション東部事務所
- ③ 利用者さんの声 ふるさとホテル三晃入居者ボランティア 菊地さん
- ④ 10/27 職員研修(生保学習会:中野区福祉事務所野々宮さん)
- ⑤ 今月のボランティア募集 越年

1.ひろば祭り参加報告

11月3日(土)、恒例の第23回「みんなのひろば祭り」が入谷南公園で開催されました。ふるさとの会では今年で15回目の参加です。

前日に仕込んだモツ煮込みを屋台に運び込み、ビールサーバーによる生ビールも準備万端、AM10:00のオープニングセレモニーの終了と同時に販売を開始しました。当日午前中は曇りで肌寒く、温かいモツ煮込みは飛ぶように売れ、なんとAM11:30で完売!「ウマイ」と評判だっただけに、もっと作っておけばよかった、というのが今回の反省です。反面、ビールの売り上げがイマイチだったのは肌寒さのせいと思われます。その証拠に午後になって日が射し、暖かくなってからは注文が相次ぎました。

屋台での販売の合間、販売係を交代して会場をグルリと観てまわると、いろいろなコーナーに興味を惹かれます。メインステージでは、知的障害者、身体障害者、脳卒中のリハビリ団体などのコーラスや芝居、カラオケなどの発表、会場では様々な品物売るバザー、活動紹介、パネル展示、クイックマッサージなどのコーナーがありました。小春日和の午後、バザーでゆっくり品定めをして格安の買い物をするのもこういうイベントの楽しみです。

ふるさとの会では例年どおり、敬老室・宿泊所・リビングの利用者の方々にささやかながら屋台券を配布し、参加のお誘いをしました。大勢の利用者の方々に、ひろば祭りのイベントを楽しんでいただけたと思います。いつも来ている利用者の方にこういう場所でお会いすると何か新鮮な喜びを感じます。山谷のふるさとの会の利用者の方と障害者の方が談笑し交流している、その傍らで子供たちが滑り台で遊んでいる、これが「みんなのひろば祭り」の持ち味です。

台東地域の障害者の方・山谷で暮らすふるさとの会利用者の方、地域の子供たち、そして介助・ケアを任うボランティア・職員の方が年に一度、一同に会するこのイベントは、大掛かりですが、相互の交流・理解を深める意味で、とても人に温かく、有意義なイベントであると実感しました。

(馬場英夫)



あっという間に完売した「ふるさと名物」モツ煮込み



たくさんの団体・人々が一堂に集う秋の一日

2.シリーズ事業所探訪 その14 東京JOBステーション東部事務所

東京ジョブステーションとは、「東京ホームレス就業支援事業推進協議会」の愛称です。厚生労働省から委託を受け、行政、識者、NPOなどを構成員とした任意団体であり、東京都におけるホームレス問題に就業の面から取り組んでいます。実際には、東部と西部に各々相談事務所(西部事務所と東部事務所)を設けて専門の相談員が就業相談等を実施しています。ハローワークの民間版のようなものです。

東京ジョブステーションは、「地域生活移行支援事業」を利用してアパートに入居した約2000人の方を対象に支援しています。東部事務所はその約半分を支援しています。主な支援内容は下記のとおりです。

- ① 求人開拓(仕事を見つけてくること)
- ② 職場体験講習(短期間仕事を体験できる制度)
- ③ キャリアカウンセリング
- ④ 履歴書の作成指導
- ⑤ 技能講習

ホームレス経験者が働いて地域に戻ることの難しさを、取材を通じてわかりました。実際に自立し定職につける方は1割程度で、福祉(生活保護)を受けながら働く方もいるが、仕事にも就けず、生活保護も受けられない方もいるようです。それでも、きちんと就労して働きたい、支援を受けながら自分に合った仕事をしたいと思っている方が多く、関係機関や団体と協力しながら様々な工夫をしていくことが必要となっています。

スタッフの声を聞きました。「地域生活移行支援事業を利用して安定した住居を確保することで仕事に就くチャンスも広がり、そのことで更に社会参加のチャンスも広がっていきます。自分なりの方法で地域の中で安定した生活を送っている方をみるときに仕事へのやりがいを感じる」とのことでした。

(榎澤正彦)



張り出してある求人票。就労自立へのきっかけになれば 求人票はじっくり見られるようにファイルにもなっています
ばと、毎月更新しています。

3.利用者さんの声 ふるさとホテル三晃入居者ボランティア 菊地さん

今回は菊池徳志さんにお話をお聞きしました。お歳は62歳で宮城県出身だそうです。子供のころは魚釣りが好きで、よくハゼを釣ったといいます。

「それ(ハゼ)を食べるんですか」。「そうだよー、おいしいよー。焼いて干して正月に食べるんだよー」。

若い頃は地元で「鉄筋屋」やり、長いこと続けて東京に出てきたのは48歳の頃だといいます。それからは「土方」をやって、会社の寮や飯場で暮らしていたそうです。そのうち渋谷の宮下公園で暮らすようになり、更生施設を経て一昨年の三月に三晃に入所なさいました。

今の生活について聞くと、「いそがしいよー」。菊池さんは自立支援施設の通所サービスに日中はかよい、三晃では配膳を手伝って、さらに時々外部のボランティアなどに出かけます。

自立支援施設は西大島にあり、バスでかよって平日の午前10時から午後4時までの間、シール貼りなどの内職作業をしているそうです。

「西大島に通うのはどうですか」。「いいよー」。「どんな感じですか」。「帰りシにハゼ釣るんだよ」。「ええっ、本当ですか。やっぱり食べるんですか」。「そう、むこうに天ぷらにしてくれる人サいんだよ」。

三晃での配膳のボランティアは、職員に誘われたのをきっかけに、「休みみたい日もある」とはいいつつ、朝食を中心にほぼ毎日手伝ってもらっています。配膳について聞くと、「おもしろいよー、Sさんがおもしろい。Kさんもおもしろい。あとCさん」と配膳の職員や他のボランティアの方の名前を挙げて、どうもその人間関係が楽しいようです。

例えば先日耳に挟んだ彼らの会話。

「きょうハンバーグ食いいくよ」。「あら菊ちゃんいいわねー、ハンバーグ」。「ちがうよっ、ハンバーガーだよ」。「ああ、ハンバーガーね。マクドナルド?」。「そう、ケンタッキー」。「ちげーだろっ」。

菊池さんはたくさん友人がいるようです。この日インタビューの後は、新宿に炊き出しを手伝いに行き、その後は渋谷に行ってオールナイトの映画館に泊まるとのことでした。

(辻 真)



菊地さん かなり照れなすって4回断られたあとと無事撮影。ありがとうございました

4.ふるさとの会 職員研修会「生活保護学習会」

10月の職員研修として、10月27日に東京ソーシャルワーク代表の野々村泰道氏を講師としてお招きいたしました。野々村氏は中野区で長年生活保護のケースワーカーとして活躍され、東京ソーシャルワークでは生活保護へアクセスするための手引き「HOW TO生活保護」などを編著されています。

今回の研修タイトルは「生活保護制度の仕組みとその利用の仕方」と銘打って開催していただきました。生活困窮者の支援を行なうわたしたちにとって生活保護制度の理解は必須の業務知識であり、これまでも年に一回は生活保護の制度理解研修を行なってきました。

研修会で生活保護制度の概要説明を受けた後、参加者より活発な質疑応答がなされました。日常の支援の現場では福祉事務所とやり取りをすることが多く、各職員より生活保護の運用方法について具体的な個々の支援事例を通じた質問が出されました。

後半の意見交換では、自立支援プログラム、とりわけ今後の生活保護のあり方として保護実施・給付決定行為とケースワーク・自立助長機能を分離し、民間に委託してゆく流れについて討議されました。また、ホームレス地域生活移行支援事業を経験している部署からは、生活保護の単独給付、とりわけ住居単給についての可能性について質疑がなされ活発な意見交換ができました。

自立支援プログラムの導入により、福祉事務所と民間との連携や地域資源の開拓が徐々に始まっています。生活保護に関してはいまある制度をよりよく活用してゆくとともに、現実のニーズに即して必要なサービス・新しい仕組みを行政－民間の連携を強化しながら提案し、創造してゆくことが不可欠と思いました。そのためにはわたしたち職員もさらなるレベルアップを図り、あらたな知識を貪欲に吸収し、絶えず勉強し続けなくてはならないと思います。

(佐久間裕章)



日ごろの支援に役立つ知識。みな真剣です。

5.今月のボランティア募集

いつもお世話になっております。ボランティアサークルふるさとの会です！

さて、ふるさとの会は今年も、恒例の“越年冬祭り”を開催します！

12月29日～1月3日までの6日間、路上生活者の方を対象に、炊き出しや物資渡しを行います。この目的は、彼らが少しでも元気になって前を向いていけるための元気づけと、ふるさとの会と彼らの関係づくりです。今は福祉事務所へ相談に行くことを踏み出せずにいる方が、いざ思い立った時にお手伝いできるためのという関係作りです。

この冬祭りに、お力を貸して下さるボランティアさんを大募集します！内容は、以下のとおりです。また、このまつりはボランティアのキャンパで運営されており、今年も資金繰りが大変困難な状況です。ですが、今後なんとか継続したいので、人材面はもちろん、資金面でのご協力、また食材や衣類などの物資カンパなど、どうかよろしく願いいたします。

<ボランティア活動内容>

- * あたたかい食事づくり(毎日違うメニューです！料理経験は問いません)
- * 炊き出し配食&路上生活者の方々との交流(言葉を交わして、彼らへ新しい風を送ってください)
- * 路上生活者ききとり調査(アンケートをとります)

<活動期間>

12月29日から1月3日まで 午前8時30分～午後5時(1日だけの参加OK)
朝8時30分集合ですが、参加時間応相談です。

12月28日と1月4日も準備と後片付けのボランティアさんを募集しています。

<連絡先>

ボランティアサークルふるさとの会 (担当:馬場・町田)
TEL03-3801-0377 E-mail:keirusitu@gmail.com
ふるさとの会HP <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>

<カンパ振込み先>

郵便振替 00260-5-63218 ふるさとの会



昨年の隅田川岸での炊き出しの様子



大量の食材を刻む、刻む、刻む……。心を込めて！

発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6
TEL: 03-3876-8150 FAX: 03-3876-7950
E-mail : hurusato@d5.dion.ne.jp
HP : <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>